

# 1 平成20年度 沖縄県議会 一般質問

## 9月定例会

質問項目

- 1 知事の政治姿勢について
- 2 原油高騰対策について
- 3 全国学力テストについて
- 4 産地偽装問題（海ブドウ）について
- 5 ブラジル・アルゼンチン移民 100 周年について
- 6 警察行政（安全、安心の確保について）
- 7 那覇空港の拡張について



**訪米について米国担当者が決まらない状況、県内中小企業の支援が先決ではないか。**

情報交換、アジア政策、防衛政策も含めて就任前に一応行ってみようと月へ行くわけではないので、何回でも行こうと考えている。県内中小企業支援、企業誘致はいずれも重要。

**産地偽装問題で、海ブドウの定義・輸入量 117t の調査はどうなっているのか。**

県では海ブドウの定義はありません。輸入117tの調査は今後行う予定としている。

**ブラジル100周年、人材育成交流の活性化について**

姉妹都市南マットグロッソ州と連携を図り、交流促進に努める。ペトロプラス社は、南西石油との新規投資、バイオエタノール燃料の普及に県の支援に期待を寄せられた。

## 11月定例会

質問項目

- 1 緊急経済対策について
- 2 雇用対策について
- 3 沖縄科学技術大学院大学について
- 4 離島の急患搬送と空港整備について
- 5 旧軍飛行場用地問題について



**緊急経済対策について、中小企業に対する緊急支援、建設業、農林水産への支援策、太陽光発電設置の補助を伺う。**

国のセーフティネット保証制度の拡充、飼料、燃費向上、肥料の支援策、公共事業補正予算は25億円計上されている。国において90億円補正予算で住宅用太陽光発電導入の補助、促進していきます。

**雇用対策について、国と連携して緊急雇用対策本部の設置、県行政、民間でのワークシェアリングの検討を伺う。**

沖縄労働局を本部長に早急に立ち上げるよう調整している。ワークシェアリングについては労使の自発的な判断と合意により実施されることが重要である。

**南北大東村の夜間離発着の具体的整備計画を伺う。**

現在使用しているランタンに変えてより明るいものを整備することで内閣府と調整・検討中。

## 2月定例会

質問項目

- 1 知事の政治姿勢について
- 2 雇用と職業訓練について
- 3 自殺対策について
- 4 旧軍飛行場用地問題について



**ガム移転協定は沖縄を無視したもの。対応策を伺う。**

県民の基地負担の軽減につながる在沖米軍海兵隊のガム移転を確実に実施するためと認識している。

**郵政民営見直し、ユニバーサルサービスの維持について**

県は郵便局（株）に設置されている沖縄会議の委員、同会議の中でユニバーサルサービスが維持されるように適切に対応していく。

**中国、台湾との人的・経済的交流について**

「新ウチナー民間大使」で人的交流、青少年交流の活性化を図る。企業誘致活動やクルーズ船就航による観光誘客、県内企業支援など経済的交流を進めている。

**「グリーンニューディール」再生エネルギー、環境に優しい交通システムについて**

県では、太陽光発電の県有施設への積極的導入、一般家庭への助成制度で普及促進を図っていく。体系的な交通ネットワークの構築を図る観点から、今後これらの軌道系交通システムの導入についても検討していきたい。



# 2 平成20年7月～2月 モリオの活動報告（視察・委員会・要請）

## ■ ブラジル・アルゼンチン視察



ブラジルとアルゼンチンで開かれた県人移民100周年記念式典などに出席するため派遣議員団のメンバーとともに約2週間行ってきました。（H20.8.21～9.2）

総務企画委員長として日々奮闘中！  
（委員会の様子）

## ■ 総務企画委員会



## ■ 不発弾爆発事故の早期対応要請



（H21.2.3）

内閣総務官室柴田内閣審議官へ糸満市で起きた不発弾爆発事故への対応及び不発弾の早期処理を要請。（東京にて）

不発弾爆発「補償制度の確立を」  
県議会（高嶺善伸議長）の代表団は二日、沖縄総合事務局や沖縄防衛局を訪ね、糸満市古波蔵で起きた不発弾事故への対応や不発弾の早期処理を要請した。県議会は同日午前の臨時会で、国に対し、被害者への補償や補償制度の創設、磁気探査の徹底などを求める意見書と決議の両案を賛成多数で可決した。総合事務局での要請で、盛夫県議は「特に補償について、新たな制度を創設してほしい。探査事業についても公共・民間問わず、国の責任でやるべきだ」と指摘。福井武弘局長は「関係省庁も含めて対応を検討しており、要請の趣旨は東京に伝えていく」と述べるにとどめた。



不発弾爆発事故で、沖縄総合事務局の福井武弘局長に国の対応を求める県議会代表団の盛夫県議長ら＝沖縄総合事務局

代表団は県庁で仲井真弘多知事も会談。県と県議会が一致して被害者への補償やあらたな制度創設などを求めることを確認した。代表団は三日、内閣府や国土交通省、防衛省など関係省庁を訪ね、不発弾爆発事故への対応や早期処理の実現を要請する。

（沖縄タイムス H21.2.3）

## モリオの政治活動日程 （平成20年7月～平成21年2月）

平成20年	7月	8月	9月	10月	11月	平成21年	12月	1月	2月
	22日 那覇市道路管理課・要請	6日 那覇市役所・清掃事業料金要請	11日 農業政策勉強会・JA沖縄訪問	12日 政党座談会・琉球新報	2日 小禄地区大運動会		7日 NAHA マラソン	9日 県警視閲式	1日 浦添市長・議員告示（儀間・3名議員当選）
	23日 県企画部長・旧軍問題要請	21日 ブラジル・アルゼンチン100周年事業参加（～9月2日）	17日 9月定例議会（～10月10日）	28日 沖縄防衛施設・外務省抗議行動（セスナ事故）	9日 那覇市長選挙結団式		14日 国民新党政経パーティー	13日 臨時議会（支庁事案）	2日 臨時議会（不発弾事故意見書）
	29日 久米島政務調査視察（～30日）		20日 郵政政策懇談会		20日 健康産業会議・懇談会		15日 旧軍飛行場用地問題知事要請	15日 不発弾事故視察調査（総務企画委員会）	3日 東京・不発弾関係省庁要請
					25日 金武町議会告示激励		22日 民主党山岡国対委員長激励会	22日 東京国会政党要請	9日 道州制懇話会（議会代表）
					28日 11月定例議会（～12月19日）		29日 旧軍問題副知事・議長要請	29日 旧軍問題副知事・議長要請	10日 2月定例議会（～3月25日）